

忘れていませんか？

## 報(ほう)・連(れん)・相(そう)

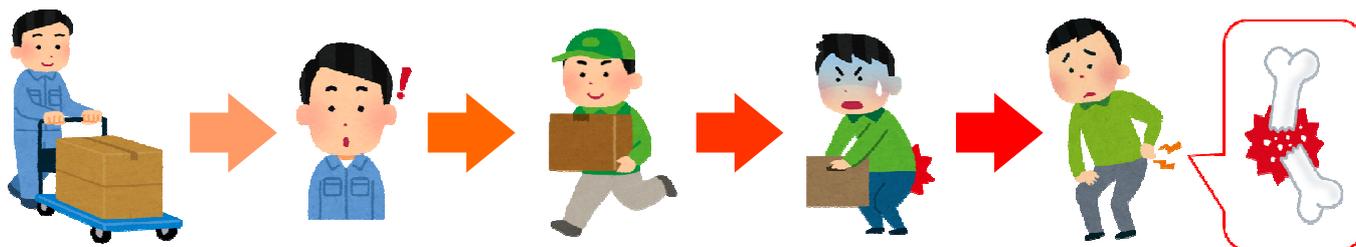
報連相とは『報告』・『連絡』・『相談』の頭文字を表したものです。

報連相を怠ると大きなケガにつながる場合があります。

実際に起こった例をもとに報連相が必要な場面を改めて確認しましょう。

## ● 身体のどこかに痛みを感じた時

- ①商品運ぶ作業の際、台車に商品をのせて運ぶより手で運ぶ方が早く作業できると思い、台車を使わずに手で持ち運んでいた。
- ②作業中に腰の痛みを感じたが、誰にも相談せずに作業を続けた。
- ③数日後も痛みが引かず、病院へ受診した結果、**椎間板ヘルニア**と診断された。



もしお工作中、体のどこかに異変や違和感を感じた場合は  
職場担当者に報告し、対策を取ってもらいましょう。

## ▼ 下記のようなことが起こった時も職場の担当者に報告しましょう ▼

## ● 異常が起こった時

商品に焼き印を  
つける機械の手前  
で商品が詰まった時



誰も呼ばずに手で取り除こうとした結果  
→ **腕が機械に触れ左腕を火傷**

## ● 危ない・おかしいと感じた時

箱を開ける際に使用  
した台のバランスが悪く  
ぐらついていた時



大丈夫と思い連絡をしなかった結果  
→ **台が倒れて足を挟まれ右足指を骨折**

一つの報連相から危険の改善、減少につながる場合があります。報連相は自身を守るだけでなく、同じ職場で働く方を守ることにもつながるのです。

★今月の安全衛生川柳 ～ トラブルを放置すると大きなケガの原因になります。できるだけ早く相談しましょう。

トラブルは 一人で抱えず すぐ相談 (北大阪支店 スタッフさんの作品)

